

あいあいあい

I eye 愛

2023年

10月号



大郷みどり会 組合員とつくる無農薬交流田の稲穂

あいコープのお米を選びたくなる理由

理事 佐藤 有子



皆さんは美味しくついつい買ってしまう食べ物がいくつありますか？それをどんな場所でもどんな人が作っているかまでご存知でしょうか？

毎年、組合員が行う産地交流では、迫、大郷、七郷をはじめとする、まんま通信に載っている農産物の産地で生産者と交流できます。家族で参加するのがとても楽しいというお声をよく聞きます。土を触ったり、小さい子と生き物を探したり、緑のきれいな田畑を眺める清々しさもある一方、暑い日差しの中でも腰が痛くなるような姿勢でも草を取らないといけない、そんな苦労も体験します。

私が担当する泉B地区が今年度交流しているのは大郷みどり会。産地に行くとは生産者さんは笑顔で私達を迎えて下さいます。が、猛暑など変わりゆく自然環境に対応しながら日々作物を育て、大変な思いをして私たちに届けてくれている…交流田でオンラインバッタのように娘を背に乗

せて草取りをしていると、生産者さんに尊敬の念が湧いてきます。すると米や野菜を選ぶ時、美味しさだけでなく、生産者の顔や人柄、その年の産地の天候なんかもでが頭に浮かんできて注文してしまうのです。スーパーの野菜売り場に、そこまで作りの顔が浮かんでくる米や野菜があるでしょうか？

生産者の皆さんにとって、必ず注文書に『1』と書いてくれるファンがいるのはとても心強いはず。産地交流のひとつは、あいコープという生協によって生産者と組合員の「生産と応援の循環」が育まれていることを、強く感じられる時間です。

今頃、私たちが世話をした大郷の田んぼは、稲刈りを控え黄金色になっていくことでしょう。10月の稲刈りが楽しみです。脱穀が終われば新米の季節。今までとは違う気持ちでお米が食べられそう。あいコープのお米で暮らしていくって、美味しくて「楽しい」ですよ！

CONTENTS

- ▶「石けん運動そもそもばなし」最終回 ……2
- ▶猛暑の夏 農産産地の様子は ……3

- ▶「諦めない」ブレずに脱原発目指すあいコープ ……4-5
- ▶パスちゃんジェラート「コーヒー」 ……6

- ▶わ・は・わに石けん工場が完成 ……7
- ▶手作りっていいね「青椒肉絲」 ……8

石けん運動 そもそも ばなし

最終回



あいコープ理事がすずめ踊りで
フォーラムに花を添えました

今年4月号から、あいコープの石けん運動を振り返ってきた「石けん運動 そもそもばなし」も今月で最終回。9月30日には「シャボン玉フォーラム in みやぎ」も行われ、理事会総力を挙げて全国の石けん運動仲間を仙台に迎えました。この運動の輪が広がることを願い、締めくくりたいと思います。



高橋 千佳さん
(あいコープみやぎ理事長)

受け継がれていく石けん運動

私の母は石けん派でしたが、思春期を迎えた私は、当時流行りの香り付きのシャンプーや合成洗剤を試し、田舎から出て一人暮らしを始めるためです。ところが、あいコープのせっけん運動に出会ったことで人にも環境にも優しいのは石けんだと腹落ちしてからは、この運動こそが必然だと日々活動するまでになりました。

私の母世代の石けん運動は、「公害」という大きな環境問題が背景にありました。今は、有害化学物質が、各家庭の身の回りに数多く潜んでおり、それを知らずに使用して家庭排水から水環境を汚しています。いずれも日本の規制が緩すぎるゆえに、公害を引き起こし、環境ホルモン・脳神経かく乱物質などが生態系や人間に影響を及ぼしています。この問題を解決し、未来の子どもたちに出来るだけ有害化学物質のない環境を残したいと切望する仲間が集い、4月に「子どもケミネット」を設立しました。「環境安全基本法」を制定し、バイオモニタリング制度を確立させるのが目標の一つです。



あいコープ職員の教育プロジェクト
「コアサイクル活動」で講師をする
高橋千佳理事長

一方で、あいコープ職員のコアサイクル活動の講師として、「石けんの基本講座」「公害から公害」を自分の失敗談を踏まえながら教えています。実験やインパクトのある香りのマイクロカプセルの写真を取り学び取る姿勢は、あくまでも「きっかけ」であり、自分の言葉でアウトプットした時に初めて活かされるでしょう。

私の息子たちはというと、一人暮らしを始めたことで石けん生活から離れてしまいました。私の変化を私の母が待ったように、彼らが腹落ちするきっかけを探ります。一人ひとりの石けん生活にドラマがあるように、多くのドラマを生むことが社会変革に繋がります。これからも全国の仲間と希望を持ち続け活動を進めて参ります。

第4回

有機米生産システム国際シンポジウム

9月4日～9月7日 @東北大学

世界が有機農業に舵を切り、その耕作面積を上げようと研究が進められる中、有機米に特化した国際シンポジウムが行われました。あいコープみやぎも協賛団体となり、3日目のポスターセッションに合わせて生協としての活動を掲示し、報告して来しました。

会場では日本をはじめ世界各地の研究者たちが、有機米の栽培、特に除草に関する実験や、土壌の成分などに関する専門的な研究結果を発表し、同時通訳されながら国境を越えた熱い質疑が交わされていました。一部しか聴講できませんでしたが、農業は植物を知る科学であり、命を考える道徳であり、生活を営む経済であると、深く考える貴重な時間でした。

あいコープは、2030年までに、供給する米の25%を有機米にするという確たる目標を持つ有機米生産の拡大に取り組んでいます。それは、作る側と食べる側、双方の取り組みです。生きる糧をこの先の未来でも得るために「有機」の食糧生産が必要なのは明らかであり、持続可能な農業に対し熱心な生協であることは、組合員と生産者の誇り。一歩ずつ前進しましょう。

理事 鈴木 真奈美



国際色豊かな参加者が
熱心に聴講、議論しました



組合員が生産者と取り組む
体験圃場の報告を掲示

終わらない地球沸騰の夏

農産産地の現実と 援農の必要性

暑い夏が、立秋を過ぎても衰えを知らず続いています。農産産地にとつても辛く苦しい夏となりました。あいこープのお米と野菜の3産地に、この夏の現状をお聞きしました。

大郷みどり会 西塚 忠樹さん

野菜の多くのアイテムで、出荷量が減ってしまいました。トマト、ミニトマト、モロヘイヤ、きゅうり、インゲンなどでは、木がダメージを負い、出荷する期間が短くなっていました。

有機で頑張ってきた小松菜も、集中豪雨による水没や、害虫が大量発生したことにより収穫ができなくなっていました。とうもろこし、カボチャなども、集中豪雨による湿害にあい、出荷量が3割から4割ほど減少しています。

秋物野菜は乾燥により定植ができず、出荷タイミングがずれ込みそうです。

米は今から収穫ですが、暑さによる乳白米発生リスクがとても高まっております、心配です。



大郷みどり会
西塚 忠樹さん

はさま自然村 菅原 達徳さん

雨不足&暑すぎが原因で、大打撃でした。本来7月下旬〜9月上旬までお届けできるはずの露地の夏秋きゅうりが、8月上旬で終わってしまいました。

ハウスピーマンは日焼け。露地のピーマンは完熟だらけ。いつもより小さいうちに収穫しないとすぐに日焼けか完熟になってしまうのがきつかったです。ニラは通年出荷できるよう、花が咲く時期をずらして植えていたのに、一気に開花。ご迷惑をおかけしています…。

秋用の白菜やブロッコリーの育苗も、苗が焼けてしまい3回撒き直しましたが、どれも完璧とはいかず、ミニ白菜は10月には収穫できそうもないです。美味しさより、暑さ対策を考えざるを得ない、いつもと違う夏でした。

野菜は暑ければ成長するのかもしれない、暑すぎると自衛のために、実には養分も、種を作る養分も全部防御に回すそう、成長が止まったり実がなくなってしまうそうです。びっくり！



はさま自然村
菅原 達徳さん

七郷みつば会 細谷 滋紀さん

長きにわたり続いたこの夏の猛暑。まずは何より従業員の熱中症対策に力を入れ、注意喚起を徹底し、自己管理の意識を特に促し、休憩の頻度を増やし、経口補水液や塩分タブレットの準備を充実させました。そして熱中症になったのは：私でした。それも3回も(笑)。

猛暑ですが、雨が降らない事の方が栽培・管理する面で大打撃でした。まだ先の収穫予定の枝豆が枯れたり、実の付きが悪くなり、全体の収穫量も半減しました。

ネギはとにかく真っ白。収穫中の物は一部「軟腐病」が発生し、廃棄する物が多かったです。雨が無い為、除草も兼ねて行う管理機の中耕作業が出来ず、草だらけの状態が続いています。

ハウス内で灌水できていても小松菜が枯れたりもありましたが、一番きつかったのは秋・冬野菜の定植が出来なかった事。ミニ白菜の苗は育苗途中に腐ってしまう物も発生。白菜の苗は成長せず、ほぼ定植出来ない状態です。ブロッコリーだけは



七郷みつば会
細谷 滋紀さん

なんとか生育してくれましたが、それでも約2〜3週間遅れでの定植となっています。

そしてこの猛暑の中、数多くの作業に「産地応援隊」と「仙台えんの倶楽部」の皆さまが『産地応援』してくれた事に対し、心から感謝しています。

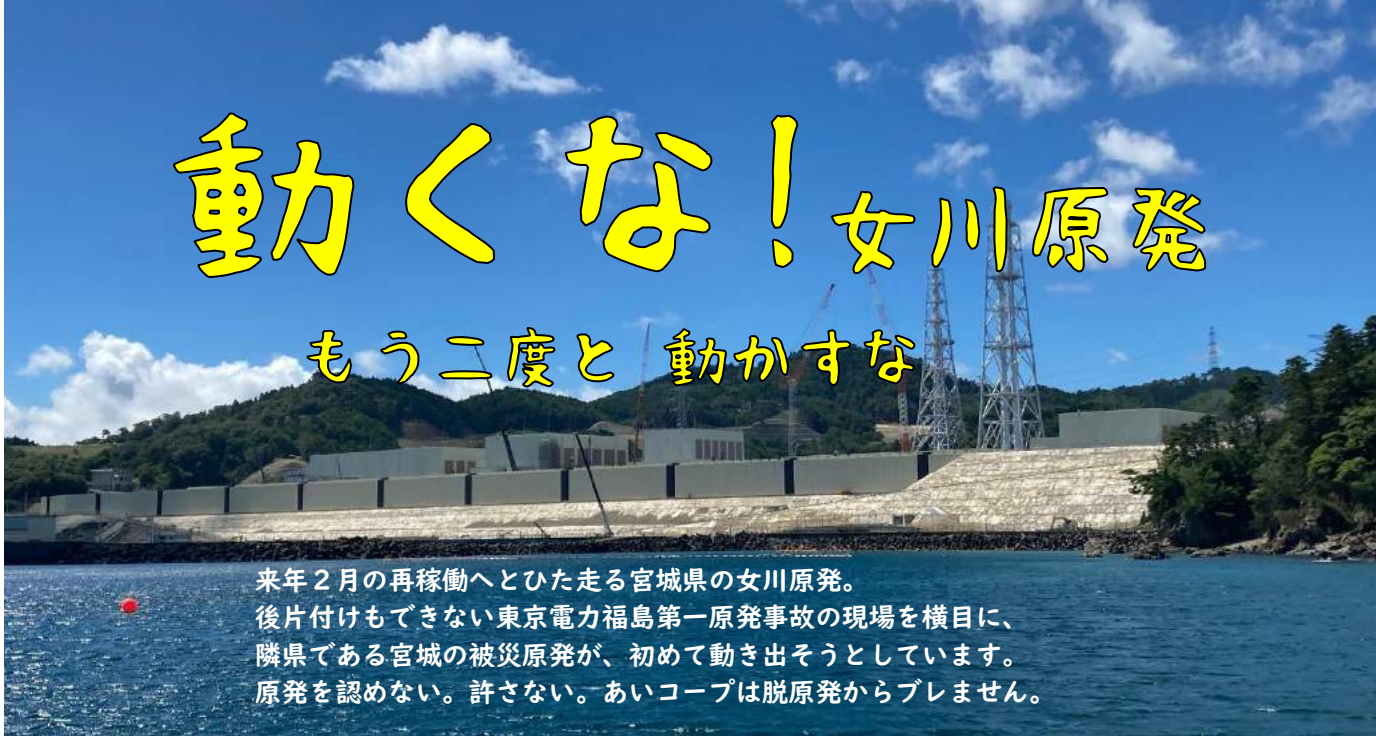
その反面「このような、我々でもきつい状態の中、作業をして頂いていいのだろうか？」と罪悪感にかられる事も多く、毎日悩ましい日々でした。



七郷みつば会のネギ畑
機械での管理ができず
まるで荒地のよう…



組合員による援農が行われ
ネギが救出された！
多くの人手が必要だ

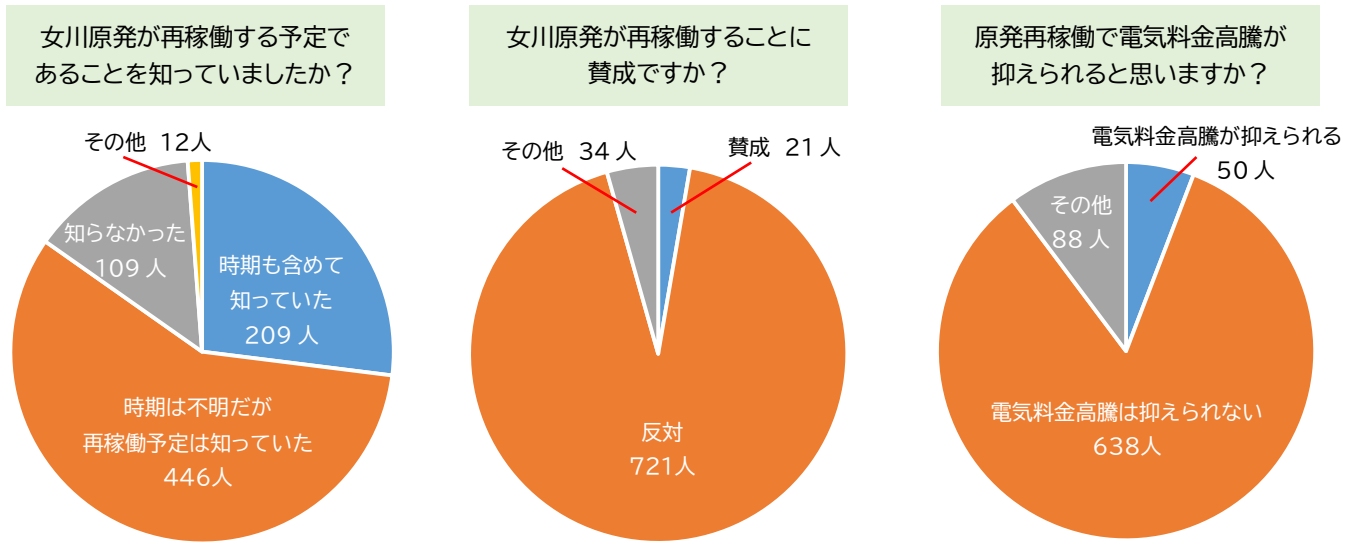


来年2月の再稼働へとひた走る宮城県の女川原発。後片付けもできない東京電力福島第一原発事故の現場を横目に、隣県である宮城の被災原発が、初めて動き出そうとしています。原発を認めない。許さない。あいコープは脱原発からブレません。

女川原発再稼働に関するアンケート【結果】

(回答数 776 件)

脱原発エネルギーシフト委員会では6月から8月にかけて、「女川原発再稼働についての認知度」をあいコープ内外に広く調査した。8/31 には委員会メンバーで集計をし、**結果を読む会**を開催。再稼働することを知らなかった人、再稼働に賛成の人も一定数いることも分かった。圧倒的多数が「再稼働に反対」である結果を受け、国や県の方針との乖離を実感。



このアンケート用紙から熱量を感じるね。原発について言いたくても言えなかった人もいると思う。フタをしていた気持ちを表に出す場になれたことも良かったかもしれないよね。

「そもそも廃棄物の処理すら決まっていないのに再稼働なんて!」という記述があったね。汚染水は東京湾に流せなんて極論言う人もいるけど、私は誰にも危険な思いさせたくない。核のゴミを捨てていい場所なんてない!

再稼働することを知ってもらったのもアンケートの目的の一つ。「知らなかった」という109人に「知ってもらえた」ということ。

再稼働反対が圧倒的。みんなダメなことはわかってるのに、核のゴミも汚染水の海洋放出も、なし崩しで「しょうがないね」というムードになるのは...嫌だな。

脱原発委員会の皆さん



脱原発エネルギーシフト委員会 女川を訪問

8/24(木)、あいコープ脱原発エネシフト委員会が女川を訪ね、小屋取浜から向こう岸にそびえたつ女川原発を視察。わかったことは、海の青さ美しさと、そこに暮らす人々との近さ、そして至近距離まで誰もが行けるセキュリティの甘さ。「日本全国に据え置き型の核爆弾があるようなもの」と例えられる原子力発電所。事故が起きなくても脅威となるのは、ロシアのウクライナ侵攻を見ても明白だ。泳いでも敷地に入れそうなその距離に、一同恐怖を禁じ得ない。



女川原発近くに掲げられた古い看板からは、建設当時から原発に抵抗してきた先人たちの闘いの歴史を感じる。「事故で止まるかみんなで止めるか」...月日が流れても変わらない、私たちの不安を表現するコピー。今も原発はそこにあり、震災を経てもなお、もう一度動かそうとする私たち人間を、外されることのない看板はどんな気持ちで見ているだろうか。

8/11 紙面デモ運動 スパート集会 小出裕章氏の講演会に230名!



市民が資金を出し合って、新聞「河北新報」の紙面に大きく「再稼働反対」の意見広告を掲載するという『紙面デモ運動』が始まったのは初夏の頃。多くの賛同者から寄付という名の再稼働反対宣言が寄せられる中、仙台市青葉区のエル・パーク仙台でスパート集会が行われた。講演したのは小出裕章氏。京都大学原子炉実験所助教として原発に夢を抱いた経歴の持ち主であり、それが嘘だったと気づいて以来、長年反原発の活動を続けていらっしゃる方だ。「東京電力福島第一原発事故で得た教訓は『事故が起きても誰も責任を取らなくて良い』ということでした。一時的に交付金で潤ったように見えても女川の本当の豊かさに結び付かない原発に、再稼働の根拠など全くありません!」と熱弁。クラウドファンディングを中心とした資金集めは成功し、予定通り紙面に大きく意見広告を掲載できる見込み。



役に立つ日が来ないことを祈りながらも... 安定ヨウ素剤の配布会を開催

これで3回目となる配布会は、リフノス利府町文化交流センターを会場に対面のみでの開催。原発事故の際、初期被曝のリスクを下げるために服用する安定ヨウ素剤を求めて、31組 126 名の方が参加した。

医師より安定ヨウ素剤の服用の仕方や注意点、放射能のことなど、ガイドブックを見ながら丁寧な説明があり、参加者も聞きたいことをしっかり聞けたようでした。女川原発再稼働が近づく中、出来る備えをしつつも原発が動かない(なくなる?)のが、私たちの一番望むことです。会場では差し止め訴訟のカンパも呼びかけ、原発ゼロの想いをお伝えしました。

脱原発エネルギーシフト委員会担当理事 櫻井 洋子



参加者は一人ずつ医師の問診を受けて安定ヨウ素剤を受け取る。(写真は水戸部秀利医師による問診)

鹿児島からお招きした青山浩一医師から、被曝の仕組みと放射能から身を守る方法の講話があった。

人気のパスちゃんミルクジェラートに 「コーヒー」が登場



珈巢多夢の伊藤強さん(右)と
娘の華奈子さん

やさしい甘さの放牧パスちゃん牛乳に、老舗コーヒー店のアイスコーヒーが入った、ちよっぴり大人のジェラートが完成しました。他では手に入らないプレミアムなデザートです。

開発に当たっては、まんま通信に毎週掲載で愛されている「ヨーロピアンブレンド」の珈巢多夢さんにご協力いただきました。マスターの伊藤強さんと二代目マスターの華奈子さんに完成したジェラートを試食してもらった「おいしいーやっぱりこの豆にしておかった」と納得の様子。コーヒー豆を煎り、挽くことを長年続けてきた伊藤さん親子ですが、ジェラートにしたいというあいコープの要望に、最初は戸惑われたそうです。「ホッとで



「ミルクジェラート・コーヒー」
9月4回から供給開始
製造元はもちろん
名取市の「ナチュリノ」です



珈巢多夢と言えば
人気のヨーロピアンブレンド。
継続利用商品にもなっています。

飲むことが多いヨーロピアンブレンドでは酸味があつてジェラートには合わないのでは? 「クッキーのように粉をそのまま入れるのではなく抽出して入れるなら濃くて美味しいエスプレッソでない」と、水出しアイスコーヒーの豆(コロンビア・タンザニア・ブラジル産)を、より深煎りにし挽きも細かくしたものを提案してくれました。

試作ではコーヒーの含有率をいくつか試し、大人はコーヒーの風味を堪能でき、ちよっと背伸びしてみたいお子様も美味しく食べられる、ちよっぴいバランスで決定しました。

あいコープ自慢の放牧酪農牛乳に、老舗コーヒー店オリジナルのコーヒーが出会い完成した「パスちゃんミルクジェラート・コーヒー」を食後のデザートには是非! マスター親子のお墨付です。

新連載 第6回

天童りんごオーナー日記

天童果実同志会と取り組む、ネオニコチノイド系農薬不使用のりんごづくり。オーナーの園地での活動も9月18日で4回目となりました。今回は「着色管理」ということで、りんごが色づくように、実にかがさつてい葉を摘みました。

同じ日に行われた園地見学バスツアーの参加者も合流し、少しだけ一緒に作業。「寿りんご」のように、シールを貼って遮光することです。実際に文字を浮かび上がらせる方法で「あいコーりんご」を作ろう! という計画の下、みんなでりんごにシール貼り! 小さな子はお父さんに肩車されて一生懸命貼っていました。約70個のりんごに貼りましたが、果たしてうまくいくか? そして何個生き残るか? 産地の生産者も経験のない本気の遊び。結果はまた後日!

今年は猛暑で昼夜の寒暖差もないため、ただでさえりんごの色づきに苦戦している天童の園地。まずは無事収穫まで行くよう祈ります。



あいシテルマークの
りんごができるかな?

理事会議事録抄

2023年9月5日(火)

▼美里町およびJA新みやぎとの有機米産直提携企画書を承認した▼飼料用トウモロコシの国産実用化に向けた計画を承認した▼2023年度総代懇談会アンケートについて承認した▼農薬登録・再評価における改善を求める要望書に賛同する事を承認した▼「シャボン玉フォーラムみやぎ」の役割分担やスケジュールを確認した▼2023年度Wa! わあ祭り実行委員会報告を承認した。

組織概要

(2023年8月分)

【組合員数】	16,539名
【供給高】	146,133千円
【一人実利用高】	5,040/週
【出資金】	1,361,995千円



●原発事故を学ぼうとせず、賛成or意思表示しない人の多さに便乗した再稼働であること、又、核のゴミの処分すら出来ずにいる中で運転は理解できないので反対。(女川原発再稼働アンケート回答 再稼働反対の理由より)

始めよう！続けよう！ 石けん生活

潜入♪ピッカピカの「さいかち」新工場!!

8月23日、ついに完成したさいかち新工場に、石けん環境委員が夏休み中の子どもたちと一緒に見学に行ってきました。

とができました」などの感想がありました。

引き続き、新さいかちの良さや使い方を紹介し、「使うなら石けんを」広めていきたいと思っています。

石けん環境委員会

理事 佐藤あきな

わ・は・わ広瀬(仙台市青葉区)で使用済み食用油のリサイクル石けん「さいかち」を作り続けることができないことが発覚してから半年余り。「さいかちを使い続けたい」との多くの声と、沢山の方々のご協力を得て、わ・は・わ味明(大郷町味明)の敷地内に新工場が完成しました。



使用済み油に苛性ソーダを入れて石けんを焚く釜が設置された

委員さんからは「扉をあけた時にせつけんのいい香りがしました。新さいかちが自宅に届いて封をあけたときに、組合員さんにも同じように幸せを感じてもらえたら嬉しいです」「食用の使用済み油から石けんになるまでを具体的に知る事ができ、さいかちをより身近に感じるこ



石けん環境委員会の皆さんとわ・は・わ味明の菅原さん(右端)

私のオススメ商品



私のおすすめ商品は「米沢郷鶏小間切」です。遺伝子組み換えでない餌を食べて育った米沢郷の安全安心な鶏肉が、すでに切られた状態で手元に届くので手軽

に使えます。うどんの具にすると鶏肉のうま味が出てより美味しくなります。炒め物などにもオススメです。是非お試しください！

事業部 供給課 鈴木 隼

編集後記

天童のりんごオーナー活動と園地見学バスツアーのスタッフとして、産地に行きました。残雪の頃から毎月のように産地に通うと、季節の変化も肌で感じられます。生産者が頭を抱えるりんごの高温障害や日焼けも見てきました。気候が変わって例年通りに作れない農産物。共に悩み、どこまでを受け入れるかを話し合うことが、作り続け食べ続けるために必要だと感じました。まっとうな秋よ来い！

理事 鈴木 真奈美

委員さん募集中！

あいコープの仲間と食のこと環境のこと一緒に話しませんか？

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当：組織運営室長 豊嶋)



組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ

☎ 0120-50-7277 平日 9:00~17:00

年金相談・・・11/14(火) 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30

法律相談・・・11/14(火)、11/21(火) 弁護士 倉林千枝子氏
13:30~15:30

子ども相談・・・11/21(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00

*介護保険と傾聴は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプランセンター・木もれび 山崎彰子氏)
傾聴 (NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏)

▼随時受付可です。各相談窓口前週の金曜日までにて予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2023年8月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	3件	利用延べ人数	9名
集団託児	4件	◆ケア時間	
慶弔・出産	19件		32時間
電話相談窓口	6件		
計	32件		



◎石けんを使うことが楽しかった。ランチも美味しかったです。楽しい雰囲気の中で良かったです。七夕飾りも楽しかったです。(しおさい地区石けんおはなしカフェ・参加者感想)

てづくり いいね

色々なものが「できあい」であふれる時代
だけど あえて自分で作ってみる
意外と簡単 コスパもいい上 とても美味しい
そんな「てづくり」生活に 食育コンダクターがご案内します

食育コンダクターとは・・・NPO法人とうほく食育実践協会が育成・認定する「食の伝道師」。
約1年間、養成講座を受講して食の根幹を学んだメンバーが、食育の現場で活躍している。

みんな大好き、中華の定番『青椒肉絲』。レトルトパウチの市販の「もと」を使わなくても意外と簡単に美味しくできるタレの配合を教えてくださいました。

材料 (3~4人分)

豚スライス肉(モモやロース、肩ロースがおススメ)200g
ピーマン4~6個(多くても大丈夫!) たけのこ水煮約100g
しょうが・にんにく各1かけ(すりおろす) 片栗粉 適量
① 塩少々、酒大さじ1、
② オイスターソース大さじ2、酒大さじ1、
醤油・砂糖 各小さじ1 ガラスープの少々
ごま油大さじ1~2

- ① スライス肉 200gは細切りにし、すりおろしたにんにく・しょうがとAを揉みこんでおく。焼く直前に片栗粉も揉みこむ
- ② ピーマン、たけのこも細切りにする。
- ③ Bの調味料を合わせる。
- ④ フライパンを熱してごま油大さじ1~2を入れ、①を炒める。
- ⑤ 肉に火が通ったら②を加えて炒め合わせ、最後にBを加えてとろみがつくまで炒める。完成!

《Point》

肉に片栗粉をもみこんでいるため焦げ付きに注意。完成時にはとろみも付きます。しっかりめの味付けです。たれを加減しながら入れてください。お好みで肉や野菜を増やしてもOK。



真奈美さんの「豚肉で青椒肉絲」



今回は「はさま自然村のピーマン」「有機たけのこ細切り」「産直豚モモスライス」で作りました。

味の決め手はコレ!

ポールスタアのオイスターソース

かき汁をたっぷり配合し
まろみとコクを備えた
中華風調味料。



今月の食育コンダクター 鈴木 真奈美さん

恥ずかしながらクツ●ドウがないと作れないと思っていた青椒肉絲(笑)。あいコープの商品だけで作れると知ってからは定番です。栄養豊富なピーマンを子ども達ももりもり食べられ、ごはんが進みます。

Wa!わ祭り2023

10月21日(土) 10:00~14:00

仙台卸商センター産業見本市会館 サンフェスタ

試食や販売のあるお祭り解禁!

入場制限はありませんが、可能な限り事前申し込みをお願いします。事前お申込みいただくと、当日の大抽選会でダブルチャンスあり! 久しぶりに大きな会場で、生産者と交流しよう。



◆Wa! わ祭り2023

参加申し込み◆

9/25~配布されたお祭りニュースに付いている申込書に必要事項を記入して配送で提出するか、右のQRコードで申し込みをお願いします。



女川原発が止まってから

4589日目

(2023年10月2日現在)